

獲れたて新鮮！海の幸！
 「第17回ゆうべつ大漁みなとまつり」
 2013年7月20日(土)17時～22時、21日(日)9時から15時まで

20日 花火の大祭典
 20日 午後7時～
 キングレコード
 叶中興、歌謡ショー
 21日
 ホタテ貝殻タワー選手権
 親子でGO!!
 21日 第1回/平成24年度
 第2回/平成25年度
 旗電戦隊キョウリュウジャー
 2013 7/20土 21日
 午後5時～ 午後9時～
 場所：湧別漁港特設会場（紋別郡湧別町港町）
 その他イベントも同日併し！！
 数量 ホタテの浜焼き
 限定 もがごの海鮮汁
 漁船の海上パレード 漁船試乗体験 ふわふわチュービット
 アマチュアバンドライブ 太鼓演奏 大抽選会 屋台村
 パルンショー などなど
 主催：ゆうべつ大漁みなとまつり実行委員会
 お問い合わせ：湧別町商工会支所 TEL.0158615-2553

湧別港で獲れた海の幸がたっぷりの「ゆうべつ大漁みなとまつり」が7月20日(土)と21日(日)の2日間にわたって開催されます。20日(土)前夜祭ではみなとまつりを盛り上げるオープニングとして、地元アマチュアバンド演奏と小樽出身の若手演歌歌手叶やよい歌謡ショー。そしてオホーツクの夜空を彩る3千発の花火大会が楽しめます。21日(日)の本祭では、子供達に人気の「獣電戦隊キョウリュウジャー」(観覧無料)、今年新企画のホタテの貝殻をどこまで積めるかを競う「ホタテ貝殻タワー選手権親子でGO」、毎年恒例大人気の「北海シマエビつかみどり」のほか、漁船の海上パレード、漁船試乗体験、子供も大人も楽しめるパルンショー、大抽選会など、楽しい催しが盛りだくさんです。又、浜値大特価の海産物即売や数量限定のホタテの浜焼き・もがごの鉄砲汁なども楽しめます。

会場

紋別郡湧別町港町(湧別漁港特設会場)
 ◎無料駐車場あり(約800台)、当日夕方から会場周辺で交通規制あり

お問い合わせ先

ゆうべつ大漁みなとまつり実行委員会(湧別町商工会支所内)
 TEL. 01586-5-2553

野付牛公園内の清掃奉仕



4つのグループに分かれ、公園内のゴミ拾いを行いました。

当社は、2010年から毎年6月の第1土曜日に、北見市内の野付牛公園敷地内においてゴミ拾いなどの清掃活動を行っており、今年も晴天の中行われました。

当日は、参加者を4つのグループに分け、敷地内にあるゴミを拾い、最後に記念撮影をしました。

今年で4回目とまだ活動的には日が浅いのですが、企業としての恒例行事として行っており、今後も地域貢献活動の一環として継続して行っていきたいと考えております。



本社

建設コンサルタント業・測量業・補償コンサルタント業・建築設計
 ISO 9001：2008認証登録



株式会社ドボク管理

本社 ●〒090-0801 北見市春光町1丁目24番地3 TEL.0157-26-3321 FAX.0157-22-7508
 札幌支店 ●〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号 TEL.011-708-0708 FAX.011-708-7700
 旭川支店 ●〒070-0831 旭川市旭町1条13丁目688番144 TEL.0166-54-7270 FAX.0166-51-1363
 網走出張所 ●〒093-0076 網走市北6条西3丁目3番地 TEL.0152-43-4150 FAX.0152-43-4160



ホームページ <http://www.dobokukanri.co.jp/>



ふくらませたガラスを高温の炉の中へ

ドボク管理 本社調査部
 測量で使用される機器たち

特集 オホーツクの工房探訪
 網走硝子館

株式会社ドボク管理

ドボク管理 本社調査部 測量で使用される機器たち

1 はじめに

株式会社ドボク管理の調査部が行っていることを紹介します。調査部では、道路部門・河川部門・農業部門の測量調査業務、用地測量、交通量調査業務などを担当しています。

2 測量とは

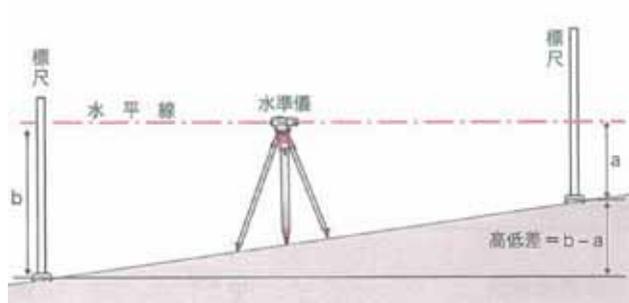
地表における地点間の相対的な位置関係を求めるため、地点間の距離や角度を測定したり地点間の高低差を測定する技術であり、これらの測定値をもとに、土地の面積を求め地図を作成する技術を言います。



3 測量で活躍する機器について

水準儀(レベル)

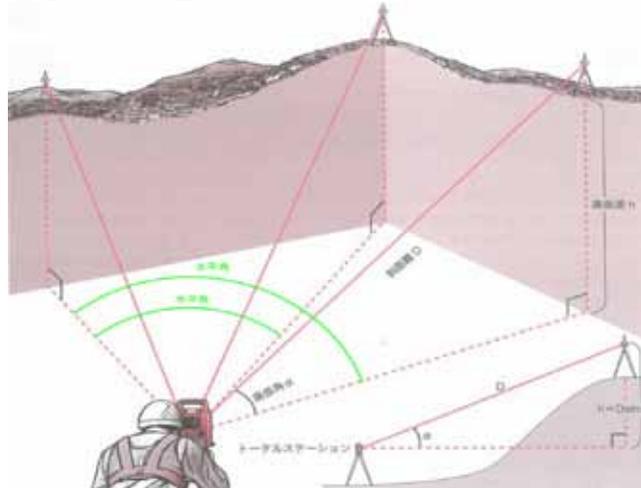
高低差を求めるのに使われる主な道具は、水準儀と標尺です。望遠鏡を正確に水平に設置し標尺の目盛りを正確に読み取る機能を有します。標尺の目盛りをバーコードに置き換え自動読取機能を有する電子レベルが普及しています。水準儀と標尺の間隔は観測精度を保つため、通常50mの等間隔で観測します。



(水準儀・標尺／絵で見る基準点測量より)

トータルステーション(TS)

位置関係に使用される機器は、トータルステーション(TS)と対物ミラー(反射鏡)により、水平角、鉛直角、距離の測定を行い位置付けを行います。距離測定は3km程度測れます。また、最近の機種はモーターを内蔵し自動で対物ミラーを視準できたり、遠隔操作によりミラーを追尾出来る機種も普及してきています。



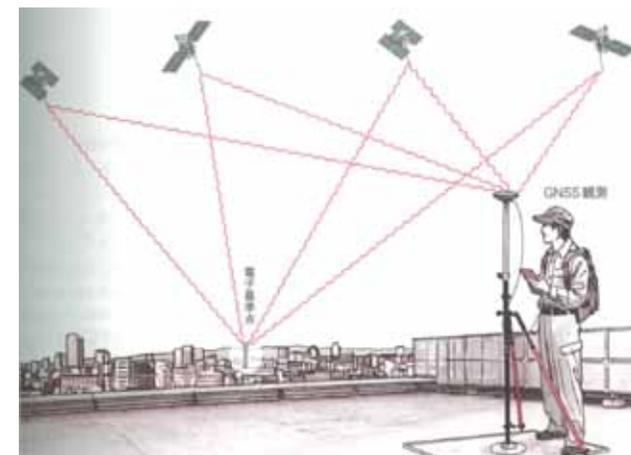
(TS・ミラー／絵で見る基準点測量より)



GNSS測量

平成8年の作業規程改正より、アメリカの人工衛星(GPS)からの電波を受信し位置情報を得るGPS測量が開始され、平成23年の公共測量作業規程準則改正により、ロシアの人工衛星GLONASSの使用が認められ、総称をGNSS測量と変更、日本の準天頂衛星の測位システムの実用化が進められています。

カーナビと同様なものですが、ネットワーク型での瞬時に計測する観測方法でも、3cm程度の位置精度で特定できます。但し、上空が開けていて衛星の電波が受信できなければ使用できない難点もあります。



(GPS機材／絵で見る基準点測量より)

4 終わりに

現在の機器は電子化されパソコンによる計算、CAD編集による図面作成を行っています。今回、簡単に測量機器の説明をさせていただきましたが、測量機器は車の車検と同じ様に、毎年、機器検定を受け、測量機器検定に合格したものを使用します。また、作業前にも点検をし、より良い精度を得られるよう心がけ使用しているところです。

オホーツクの工房探訪 流水硝子館



流水硝子館のショップ

四季に応じて景色もガラリと様変わりする北海道。長く厳しかった冬が去って、雪解けと共に草木が一斉に色付き、これから本格的な夏に向かう今日この頃。今回は、網走のガラス工芸工房「流水硝子館」を紹介いたします。

先日、とある講演会に出席し、記念品でガラス製のコースターをいただきました。パンフレットに目を通すと、コースターの製造元が網走の工房であると書かれてありました。

「ガラス工芸」というと、まっ先に思い浮かべるのが知名度の高い小樽。オホーツク地域に工房があるということに驚き、またたいへん興味を抱きました。



流水硝子館



軍司 昇さん

廃棄された蛍光灯のリサイクルガラスを原料として使用。

今回の取材で話をお伺いしました工房長の軍司昇（ぐんじのぼる）さんは、沖縄でガラス工芸の修行を積まれその後、地元の網走に戻ってきたということでした。

オホーツク管内、北見市留辺蘂町には日本最大規模の水銀の処理施設である「野村興産イトム力鉱業所」があります。流水硝子館で使う材料もここから調達しているそうです。リサイクル原料である蛍光灯の廃ガラスを使うことは地球環境にも配慮したものです。

工房地下には、この廃ガラスのストックスペースがあり、年間約14トン使うとおっしゃっていました。



地下に保管してある原料のリサイクルガラス

吹きガラス体験もできます。

館内にはショップもあり、色鮮やかでセンスの良いオリジナルガラス製品が数多く並んでいます。ショップの奥、オホーツク海に面してガラス工芸の工房がありました。



工房内

吹きガラスの体験はここでできます。工房の隣には、ガラス窓で仕切られたカフェ「シーニック・カフェ 帽子岩」があり、正面のオホーツク海を眺めつつ飲み物を注文し、あわせて工房の様子も見ることができます。



溶解炉

工房には、ガラス溶解炉が24時間稼働しているために室温が高くなっています。冬の期間は、この溶解炉から出た熱を天井に張り巡らせたダクトに通し、館内の暖房にも活用しているとのことでした。これも無駄のないリサイクルです。

今後の夢などを軍司さんにお聞きしたところ、将来は、学校の社会科見学も受け入れていきたいと話しておりました。

日常生活の中で何気なく使ってるガラス製品も、お話を伺い、製作過程を実際に体験してみるとまた違ったものに見えてきます。自分で作ったガラスのグラスで飲むビールは特別な味わいがあるかもしれません。

網走方面へお越しの際は、オホーツク海に面した工房のカフェでくつろぎながら、吹きガラスの体験もしてみたいかがでしょうか。ちょっと変わった休日の過ごし方になりそうです。



カフェ帽子岩

流水硝子館

網走市南4条東6丁目2-1
TEL.0152-43-3480 FAX.0152-67-4362
ホームページ <http://www.ryuhyo-glass.com/>



体験で作るグラス選び

今回はガラス作りの挑戦です。

まずは、作成するガラスの種類を決めます。グラス(4種類)・一輪挿し(2種類)の中からロックグラスに決めました。その後は、グラスにつける模様の種類と色の選択。この段階ではどのような仕上がりになるかは、全く想像が付きません。



軍手とカバー

エプロンと右腕にカバー・軍手を装着すれば、準備完了！体験する期待感とちゃんとガラスになるんだろうかという不安な気持ちで、作業台に座りながら順番を待ちます。

グラスの元となるガラスが熱せられるのを待つ間は、職員の方から作業の説明を聞きます。この時に作業の練習をさせてくれますし、職員の方が親切丁寧に教えてくれますので、取材陣のような全くの初心者でも安心です。中が空洞になっているストロー状の鉄棒を回しながらゆっくりと息を吹き込むと、熱せられてオレンジ色のガラス玉が少しずつ膨らんでいきます。時間をかけ過ぎるとガラスの温度が下がり固まってしまう、急速に息を吹き込むと失敗してしまいますので、注意が必要です。



息を吹き込み膨らませる

先に決めたガラスの形状までガラスが大きくなれば、こちらの行程は終了です。

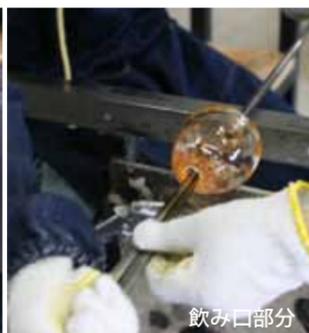
ガラスの大きさまで出来上がると、今度はガラスの底にあたる部分を作っていきます。幅の広い包丁のようなコテを使い、底にあたる部分に押し当てて形状を整えていきます。片方の手で鉄棒を転がしながら、もう片方の手で底の部分に対して垂直にコテをあてなければいけないので、なかなか難しい作業になります。

底の形状が整ったら、違う鉄棒に先ほどまで作成していたガラスを移し替えます。違う鉄棒に移し替えたことによって、飲み口側が先端にくることになります。

今度はガラスの飲み口部分を成形していきます。先ほどまで持っていた包丁のようなコテから、鉄製のトングのような菜箸のような道具に持ち替えて、飲み口の成形に入ります。ガラスの先に空いている親指ほどの穴に、鉄製の道



底の形成



飲み口部分

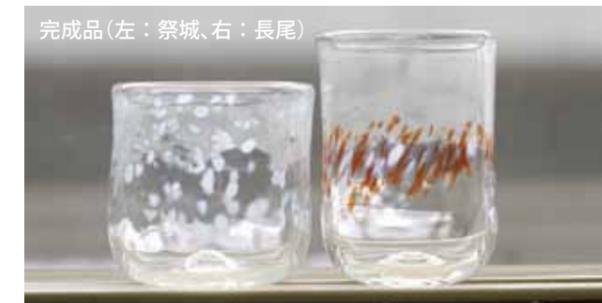
具を差し込み徐々に穴を拡げていきます。こちらの作業も、片方の手では鉄棒を転がしながら、もう片方の手でガラスに対して水平を維持しながらの作業になります。

どの行程も同じですが、ガラスは急速に冷えて固まってしまうので、固まると作業できなくなりますので、再度ガラスを熱しなければなりません。『作業→冷え固まる→熱する→作業』の繰り返しで、ガラスの形を整えていきます。(祭城)



ロンググラスに挑戦

吹きガラスを体験して、まず原料が蛍光灯をリサイクルして使っていることに驚きました。実際作ってみて、息の吹き加減と両手を同時に動かすのが難しかったです。ロンググラスを作ったのですが、まさかガラスがついている棒を振って、遠心力で長くするとは思いませんでした。完成品は、とても綺麗に模様がついていて、この先ずっと使っていきたいと思っています。(長尾)



完成品(左：祭城、右：長尾)